



きっと、もっと、これから。



2010
10
VOL.114

<http://www.fukuoka-sjc.org/>



能古島 (提供 福岡市)

特集

普及啓発

普及啓発促進月間について

10月は普及啓発促進月間です。シルバー人材センターを広く市民や事業所に知っていただき、会員の増員と仕事の受注拡大を図るため、街頭キャンペーンを実施し、イベントなどに参加いたします。

今年は県連合主催の「シルバーフェスティバル2010」に参加するとともに、各支部で街頭キャンペーンなどの普及活動を行います。

シルバーフェスティバル2010

10月23日(土)と24日(日)に開催される「RKBラジオまつり」の会場の一画で実施します。

日時

平成22年
10月23日(土)・24日(日)
10:00～17:00

場所

RKB放送会館前広場
福岡市早良区百道浜2-3-8



シルバーフェスティバル2010会場

実施内容

小物作り(手芸品、布わらじなど)、竹とんぼ作り
展示コーナー 野点・筆耕コーナー、手芸品など



(写真は、すべて今年のシルバーフェスティバルより)

当日はシルバーのPRを行い、チラシ、ウェットティッシュなどを来場者に配布します。

この会場に自作の作品を展示していただける方、会場で製作していただける会員の方を各支部にお願いしております。

また、ラジオまつり会場には、福岡県内のシルバー人材センターや多数の店が出ています。各地の特産品やおみやげ品、飲食のコーナーがあり、大変楽しいイベントです。

ご来場をお待ちしております。



▲昨年のシルバーフェスティバル

各支部でも、「街頭キャンペーン」を実施します!

より多くの市民の皆さんに向け、各支部ごとにシルバー人材センターの知名度アップのために、PR活動を行います。

●東支部

日時：10月16日(土) 11時~12時

場所：JR箱崎駅 西口・東口
JR香椎駅前/きらきら通り
みゆき通り

●博多支部

日時：11月3日(水)

10時~15時

場所：「まつりはかた2010」会場

●中央支部

日時：10月9日(土) 11時~12時

場所：唐人町駐輪場周辺
六本松駐輪場周辺
西鉄平尾駅前周辺
西鉄薬院駅ビル前周辺

●南支部

日時：10月21日(木)

9時~12時

場所：西鉄大橋駅 東・西広場
西鉄高宮駅 西広場

●城南支部

日時：10月16日(土)
10時30分~12時

場所：七隈サニー前
別府西鉄ストア前
東油山マルキョウ前

●早良支部

日時：10月8日(金)

場所：地下鉄 西新駅周辺4箇所
地下鉄 藤崎駅周辺
地下鉄 室見駅周辺

●西支部

日時：10月17日(日) 11時~13時

場所：地下鉄姪浜駅周辺
姪浜ウエストコート前周辺
JR周船寺ジャスコ周辺



東支部 ひがししぶ

東区香椎花火大会と ボランティア清掃



9月4日(土)に香椎浜の博多湾で、夏の終わりを告げる第20回東区花火大会が開催されました。

会場周辺には焼き鳥、焼きそば等の屋台がずらりと並び、子ども連れやカップルの若者で、大賑わいの暑さと熱気を潮風が吹き流していました。8月初めの大濠公園の花火大会に負けない打上げ本数(7,700発)に、10万人の観客が集まり、大きな歓声と拍手の中で最後の大王連発は、他地区の花火大会に勝るとも劣らない大迫力に、夜空の大輪を見上げるばかりでした。



翌日はボランティアとして、東支部のシルバー会員が清掃活動に参加しました。

ボランティアグループ健悠会、駐輪場就業者、家事援助班など30余名のシルバー会員が集まり、地域のボランティアメンバーと共に早朝より海岸周辺を清掃し、きれいな海岸になりました。香椎商工会花火実行委員会の吉本会長からも、お礼の言葉を頂きました。

参加会員の皆さん、ありがとうございました。

就業メンバーの募集

下記のメンバーを募集しています。興味がありましたら、東支部事務所にお問い合わせください。

●剪定

植木の剪定(最初は枝葉の片付け作業・用具の貸出し有り)

●刈払

空き地や公園・河川敷などの、刈払機による草刈(最初は集草や手取除草があります)

11月頃に、刈払の講習会を開催予定です。

詳細は、シルバーだよりに折込の案内などをご参照ください。

●手取除草

主に、家庭の庭先の草取り(しゃがみこんでの作業で、腰痛の方には不向きです)

●チラシ配布

住宅メーカーや車メーカーのチラシ等を各戸に配る作業(住宅地図により、配布先は明示されます)

パソコン教室の生徒募集中

東支部の2階会議室で、毎週火曜日と木曜日の10時～12時にパソコン教室を開催しています。

パソコンを始めたい方、デジカメ写真の加工、年賀状作成など入門編の講座を用意しています。いつからでも講座を受け付けています。

今年こそは!と思っておられる方は、一度教室を覗いてみて下さい。

広報委員 安武 和芳

博多支部 はかたしぶ

配食班会議の開催



8月23日(月)13時より配食班会議が支部会議室で開かれました。会議には、坂井委員長、倉岡副委員長、拝崎公共担当と8名の会員が出席しました。

◎坂井委員長の説明を要約しますと、次のとおりです。

1. 交通安全関係

- ①配食班は、今年度も無事故で良い結果が出ている。これからも事故「0」を目指していただきたい。
- ②「安全への心がけ」「交通違反をしない」等を守っていただきたい。
- ③本年度から博多支部として事務所を含むドライバー就業者は「高齢者安全運転体験教室」に参加しなければ、車の運転は出来ないことになりましたので、是非、参加してください。
- ④人の送迎にかかる運転業務は、来年度からは契約をしないことに決定しました。

2. 就業関係

- ①本年度の当支部の配食車両は、現状の2台態勢で変わりません。
- ②配食者は、弁当箱や味噌汁椀などを扱うので、手を清潔に保っていただきたい。
- ③配食先の方の安否確認は、重要な業務なので「声掛け」を必ずしてください。

◎配食班

配食マニュアルに基づき、運転者・配食者・朝礼・支部報告などの実施状況等について、班員の報告を聞きながら再確認しました。

続いて、配食にかかる注意事項について、班員の意見や要望を議論しながら、その遵守に努めることが確認されました。

内容は、お客様からのクレーム問題ですが、今日の会議を通じて問題を解決し、意思を統一したいと思っています。また、指定管理者として9月1日に申請を行っておりますので、影響がないようによろしく願います。

続いて、櫻井班長、拝崎公共担当から、最近のクレーム問題について説明がありました。

- ①サイクルポストにかかるクレームが多いこと。
- ②街頭指導の際の言葉遣いに注意を要すること。
- ③駐輪の禁止区域・非禁止区域を正しく認識すること。
- ④「街頭指導の方針」を良く理解して欲しい。

以上の件について対応と質疑応答があり、出席者の理解を深めることが出来ました。

9月も残暑が厳しいようですが、体調の管理に気を付けられ頑張ってくださいと思います。

街頭指導の方針

<1>誇りを持って就業を

- ①お客様に笑顔で挨拶・笑顔で対応
- ②何時も明るく・仲良く・元気よく
- ③服装は、だれが見ても気持ちよく

<2>基本方針の厳守

- ①駐輪場マップを見せて、駐輪場への案内を
- ②歩道上で歩行者の邪魔になる自転車は整理・整頓、1メートル以上は動かさない
- ③サイクルポストの中の自転車は扱わない

広報委員 松井 洋治

全街頭指導員会議の開催



全街頭指導員会議が9月4日(土) 32名、及び5日(日) 30名の出席を得て、支部会議室で開催されました。まず、坂井委員長より街頭指導の現状について説明がありました。

(要旨)

本日は暑い中、ご出席いただき有難うございます。先日、市や本部から駐輪場業務について、指導要請があり、緊急に会議を開催しました。

中央支部 ちゅうおうしぶ

平成22年度 安全・適正就業促進大会開催

7月15日(木) 13時30分から市民福祉プラザ(ふくふくプラザ)で122名が参加し、的野副委員長の司会により開催されました。

1. 江口委員長挨拶

本日はご多忙中にもかかわらず、多数の方々に出席いただき、大変ありがとうございます。

講演会には「参加体験型」と題して、福岡中央警察署、交通一課の塚崎警部補ほか、係員の方々による高齢者安全教室があります。

また、本日は竹内専任担当理事にもご出席いただいております。

このような中で、本年度の大会が開催できます



ことを感謝しております。

安全については、会員一人ひとりが日頃から常に関心を持って、自発的に安全な行動ができるよう、身につけていくことが大切です。

安全への問題意識をもって物事を見ていけば、様々な問題点も発見できます。

そのためにも、職群班会議や講習会などで解決に向けて取り組んでいただきたい。最後になりましたが、特定検診の受診をぜひお願いします。

2. 竹内専任担当理事挨拶

毎年7月は「安全・適正就業促進大会」が全国的に行われており、事故ゼロを目指し、安全就業の実現に取り組んでおります。

今まで発生した事故の多くは、安全措置を行えば防止することが可能なものです。

誰が安全を確認するのかといえば、会員自身です。会員の自己管理能力の向上と、班単位での相互確認が望まれるところです。

適正就業については、

- ①定められた法律を守っているか
- ②就業機会の公平化
- ③不適正就業の実態解明

などあります。

また、公益法人への申請認可を目指しています。会員の理解と協力がなければ、実現不可能です。支部においても安全会議を計画的に実施し、安全パトロールを積極的に取り組んでいただきたい。



3. 講演会「参加体験型」高齢者教室

はじめに塚崎警部補から「交通事故死の6割が65才以上の高齢者で、しかも、事故の半数以上が夜間に発生している。普段から明るい服を着る習慣と、加齢に伴い判断力や視力など心身機能が低下していることを知り、無理せずに安全運転を心がけてください」とお話がありました。

引き続き、壇上で行われた実演に会員3名の方が参加され、その名演技に会場は爆笑の渦でした。

4. 事故発生状況等

岩男安全担当からは、21年度事故発生状況と22年度4月～6月の事故内容について、事故事例の検証を基に説明がありました。

最後に、交通安全宣言、安全就業宣言、安全スローガン唱和の後、北専任担当理事の閉会の言葉で終了しました。

役員会開催

8月20日(金) 10時から、中央支部5階会議室で役員会が開催されました。

1. 江口委員長から中央支部4月～7月の配分金の実績報告があり、引き続き、当面の諸問題について報告と説明がありました。

- ①22年度地域懇談会の予定について
- ②交通費の見直しについて
- ③7月15日に開催した中央支部安全・適正就業促進大会の結果報告
- ④シルバーフェスティバルの開催と街頭キャンペーンについて
- ⑤駐輪場指定管理者申請を9月1日に提出予定
- ⑥互助会活動について

現在、公益認定に向けて様々な条件整備を行っているが、互助会への助成金の支出は公益認定の基準では認められていない。

互助会のあり方については、支部ごとに意見を集約しているところです。

2. 北専任担当理事から「熱中症対策を万全にして就業に心がけていただきたい。剪定、除草に現在就業している会員の高齢化に伴い、会員の育成が急務であるため、8月と10月に講習会を予定している」とのお話がありました。

3. 岩男安全担当者から、4月～6月までの事故発生状況について、事故検証を基に説明があり、会議が終了しました。

広報委員 井手上 勉

南支部 みなみしぶ

「街頭指導の新人研修会」開催 〈私たちはがんばります〉



炎天下の最中の8月24日(金) 午前10時から、支部会議室で、平松委員長はじめ、吉田副委員長、水間公共担当、稲富街頭指導班長等22名が参加し「街頭指導の新人研修会」が開催されました。

はじめに、委員長の挨拶がありました。「初めて街頭指導をされる皆様をお願いしたいことは、老若男女を問わず、丁寧に声かけをすることです。例えば、他人から小言や注意を受けて自分が腹立つことは、必ず相手も悪い気分になるということです。もう一点は、多くの市民の方々から就業に対して、和気あいあいの精神がみなぎり、明るく楽しく笑顔で活動していると、評価と信頼を得ることではないでしょうか」と話されました。

次に、街頭指導に従事された稲富班長からは、豊かな体験談を交えながらの訓話がありました。要点を述べますと、次のようなことです。

- ①会員相互の人間関係を樹立し、常に助け合いの精神を忘れない。
- ②違反者に対し、注意をするという考え方ではなく、協力をお願いするのが就業である。例えば、「環境美化、歩行者の安全面、自転車事故の防止のために放置してはいけません」とお願いする。
- ③市民との口論をさける。常識論では理解してもらえない場合もある。
- ④自転車を置いて立ち去る人は8割を占める。「おい、こら」と暴言を吐かない。整然と並べられていると、放置しにくい。
- ⑤会員の皆さんは、福岡市からシルバー人材センターが委託されているという根本的な自覚と認識が不可欠であること。
- ⑥人間には感情があり、十人十色であるので、常に丁寧な対応で臨んでほしい。また、自分の



気持ちをコントロールできる冷静さを持つこと。

取材を終え、多くのことを学び考えさせられました。新入会員の皆さん、過去に培われた知識と経験を生かし、シルバー人材センターの一員として種を蒔き、実を結ばせて、立派な花を咲かせてください。

広報委員 高濱 一郎

城南支部 じょうなんしぶ

支部スタッフの紹介

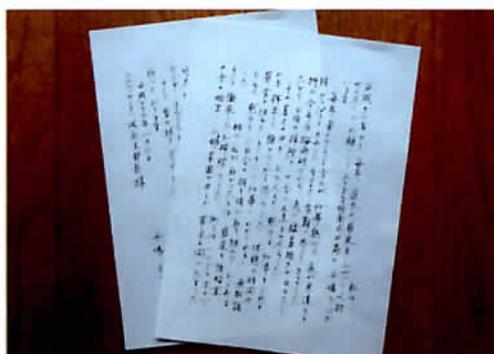
9月10日現在での会員の入退会や就業先・会員との連絡などに携わっているスタッフは、次のとおりです。

- ◎委員長 堂園 完治
- ◎副委員長 永富 陽、原 政江
- ◎専任理事(就業開拓担当) 本田 正郎
- ◎安全対策担当 高島 輝雄(除草・運転)
- ◎公共担当 永富 陽(駐輪場以外)
高崎 眞行(駐輪場)
- ◎家事担当 桑野まり子
- ◎基幹業務担当 斉藤 健二(一般受注)
渡辺 静子(剪定)
- ◎配食担当 藤橋たか生
- ◎就業開拓担当 宮原万亀男

センターを取り巻く環境は、決して楽観できるものではありません。しかし、こんな時だからこそ、会員も支部からの連絡を待つのでなく、要望や能力、特技などを話し、自分に合った就業先を積極的に探すように努めましょう。

お礼状が届きました

先日、委員長宛てに、依頼者である平嶋タヘ子さんから、就業に対するお礼状が届きました。内容は、次のとおりです。



私は平成10年から毎年、庭木の剪定をシルバー人材センターにお願いしている平嶋でございます。

毎年来て下さる方々が仕事熱心で、庭が見違えるほどさっぱりときれいになるので有り難く思ってきました。今年は梅雨明けから急に猛暑続きの日々でしたから、日々の掃除も十分にできませんでした。

その暑さの中をお三人とも黙々と仕事をされるのを拝見して頭の下がる思いでした。休憩や昼食後の休みもそこそこに仕事にかかれるし、無駄話もなく、黙々とご自分の持ち場に取り組んでおられました。

特に助かったのは剪定の後始末。そして徹底したお掃除でした。例えば、つつじの木の下や小さな菜園の中とか、草木の間にたまった枯れ葉などなど、剪定のゴミではないものまでも「ついでだから」と言って掃除して頂いたこと等など、本当に有り難く思いました。

私も年々、体力が減退し、思うように庭にまで行き届かなくなっていて、この猛暑には「熱中症にならぬように」するのが精一杯でした。例年もそうでしたが、今年は特にうれしく思いましたので十分に言い尽くし得ませんが、御礼申し上げたいと思い、ペンを取りました。竹尾班長さんをはじめ、今まで来て下さった方々にもどうぞよろしくお伝え下さいませようお願い致します。



広報委員 藤 勇三

早良支部 さわらしぶ

西新駐輪場の全体会議が 開催されました



7月14日(水)と15日(木)の午後、支部会議室で、西新駐輪場の全体会議が開催されました。就業の関係で54名の会員が2日に分かれて、今村班長の司会で進められました。

まず、五島委員長と斉藤専任理事から、次のような挨拶がありました。

五島委員長：配分金ベースで早良支部の6月の実績は、金額で2221万円・前年比96%で、市全体は1億4502万円・前年比98%でした。

又、4～6月通期では、早良支部は対前年比95%(金額で▲356万円)で、市全体は97%(▲1403万円)でした。各支部が苦戦する中で、南支部だけが前年比113%と大幅に上回っています。要因は今年度から駐輪場の指定管理者を取得したものです。就業率は4～6月通期で58%となり、中央支部に次いで2番目に高い数値です。22年度は平均就業率を60%まで引き上げたいと考えています。来年度には公益認定の申請を行うため、就業日数・就業時間の改善が必要となります。制約内には、ワークシェアリングを行うことしか方法はありません。ご理解・ご協力をお願いします。

斉藤専任担当理事：今年度も専任担当理事として、駐輪場を中心として公共関係を担当します。昨年度は早良支部と南支部が指定管理者の指定を受けましたが、皆さんの就業態度が今年度に指定管理者指定の申請を予定している東・博多・中央・西の各支部に影響を与えますので、トラブルは絶対に避けて下さい。

続いて、今村班長並びに横尾・波多江両副班長を中心に、支部の井上副委員長と丸山公共担当も加わって、日常業務での問題点を熱心に話し合い、改善する点をお互い確認して閉会しました。

「安全大会」が開かれました



7月23日（金）の1時半から「平成22年度安全・適正就業促進大会」が、早良市民センターで開催されました。

猛暑にもかかわらず、五島委員長・北専任担当理事ほか100名が出席して、会場は満員の盛況でした。大会の要旨は、次の通りです。

はじめに五島委員長から、支部の現況および支部の指針について説明がありました。又、来年度に予定している公益認定への申請には適正就業が必要であるとして、会員の理解を求めました。

次に北専任担当理事から、公益認定への条件として安全への取り組みや事故率も考慮されるとの話がありました。続いて加藤安全担当から新任の挨拶と事故報告がありました。

休憩を挟み、早良保健所の目野俊子健康課長（ドクター）から「高齢者の健康管理」のテーマで講演がありました。



結核や熱中症の話に続いて、福岡市が健康づくりの行動指針として推進している「健康日本21福岡市計画」の“健康ふくおか10か条”について説

明がありました。中でもシルバーにとって重要と思われる5か条を抜粋しました。

第1条 健康体重を知り、維持しましょう

健康体重(kg) = 身長(m) × 身長(m) × 22

第2条 運動を、身近なところで楽しみながら、日常生活の中に取り入れましょう

からだを動かすことは、生活習慣病の予防のほかに、気分転換や老化防止にも役立ちます

第3条 人との交流を楽しみ、上手にストレスを解消しましょう

運動・旅行・趣味など自分なりのリフレッシュ法を見つけましょう

第7条 たばこの悪影響を知り、禁煙、防煙、分煙の輪を広げましょう

妊婦や子どものいるところでは「禁煙」「分煙」を徹底しましょう

第8条 適正飲酒を守りましょう

休肝日をつくり、適量を守るようにしましょう（適量は禁酒よりもからだに良いとのこと）

会員の皆さんは、健康づくりの行動を誓って、3時に閉会しました。

広報委員 高橋 勉

西支部 にししぶ

新設「リサイクルボックス」を訪ねて



九州大学伊都キャンパスの鉄道の玄関口、JR筑肥線「九大学研都市駅」の近くに、西区の新しい交流の場となる建物が今年7月にオープンしました。それが「さいとびあ」です。

西部地区交流センターと西部図書館が設置され、西区役所今宿出張所もこの建物に移転しました。旧今宿出張所に設置されていた「リサイクルボックス」も、さいとびあ内に移転設置されました。

「リサイクルボックス」は建物の東側の駐車場に面したところにあります。坂本リーダーを中心に7人の会員が交替で就業しています。



支部通信

新設された7月から、殊の外の猛暑続きの今年、日陰がないボックス周辺は大変な暑さです。会員は、隣に設置された控え室で、時折扇風機で涼を取りながら、資源ごみを持ち込まれる方に、にこやかに対応されていました。

旧出張所でのボックスでは、半ば常連的な利用者が多かったが、さいとびあでは設置場所の認識度の関係か、若干まだ少ないようです。今後、さいとびあ利用者の情報や、資源再利用の高まりで、利用者が増えることでしょうか。

第2回 福祉・家事援助サービス班 班長・リーダー会議開催



7月29日(水)に福祉・家事援助サービス班班長・リーダー会議が開催され、新任の井上福祉・家事援助専任担当理事も出席されました。

井上理事からは、主として次の点について話がありました。

- ①家事援助就業に当たっての心構え
- ②健康診断受診の奨励
- ③配分金に関わる事(交通費カット)について

また、副島班長からは、本部での会議報告があり、なかでも熱中症対策を含めた健康維持について詳しく話がありました。

小林家事援助班担当からは、家事班就業の特殊

性について次のような話がありました。

①利用者宅に入室しての就業という事情

利用者は往々にして体調が優れない方があり、子育て支援の場合では乳幼児の存在という事で、殊のほか自分が健康でなければならないという事。

又、利用者の体調等から、自分自身の予防策を整える必要がある。

②公私を混同しないこと。

③利用者から、取り決め以外の仕事を依頼された場合、内容によっては心情的には心が動く事があるかもしれないが、そこは心を鬼にして、表面では優しくお断りすること。

④先ほどから話が出ている「健康診断」は、規則だからではなく、自分自身の事として受診していただきたい。

⑤交通事故防止について、最近は特に高齢者の道路横断歩行中の事故が多発の傾向にあります。交通標識に従い、回り道でも横断歩道を渡るように心がけましょう。

今後の課題として、電球交換等の短時間の仕事の依頼に対して、どのように対応するか検討する必要があります。

予告として、「福祉家事援助班全体会議開催」と「シルバーフェスティバル」の開催について報告がありました。



広報委員 岡崎 幸雄

上川端通り「シルバーギャラリー」休止のお知らせ!

5月10日にオープンし、市民並びに会員の皆様に愛された“シルバーギャラリー”は、去る9月30日で一旦休止となりました。この間、会員の素晴らしい作品の展示や、多くの人との出会も生まれました。

お陰様で目的の一つである、シルバー人材センターのPRには一役買ったと自負しております。皆様方の暖かいご協力に心から感謝申し上げます。

なお、現在、新たな形での展開を検討しております。今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。

業務部会

歯科医療をトータルサポートする歯科専門の総合商社

ケーオーデンタル株式会社 福岡営業所

福岡営業所 ^{みくりや}御厨所長に会社概要をお伺いしました。

ケーオーデンタルは、東京の本社を中心として全国に営業所・出張所を置き、歯科医院の皆さまが高度で心のかもった歯科医療を患者さまにご提供いただけるようお手伝いする歯科医療専門の総合商社です。

ケーオーデンタルでは、「歯科器材の販売」「開業サポート」「メンテナンスサポート」「セミナーの開催」「歯科技工物の受注・集配」を主体とする幅広いサービスを提供し、歯科医療に関わる方々の日々の診療をトータルにサポートしています。

福岡営業所では、商品配送の効率化・迅速化を図るため、福岡市シルバー人材センター博多支部から4名の方が就業されています。

業務は、商品の整理・整頓及び納入商品を揃える作業などをお願いしています。



ケーオーデンタルは、お客様の快適かつ機能的な歯科医院経営のお手伝いを通じて、皆さまと共に、さらなる健康社会を実現できるよう努力しております。

広報委員 松井 洋治

事務局長ご挨拶



萩原 信吾 事務局長

平成22年4月1日付で事務局長に就任いたしました、萩原でございます。

就任以来、業務や研修を通して“シルバー人材センターとは、単に高齢者に就業を紹介するところではなく、就業を通して自主的に社会参加することにより生きがいを高め、活力ある地域社会づくりに貢献する法令に裏付けされた団体である”ということを学んでまいりました。

現在の厳しい経済状況の中、シルバーの受注量は減少し、補助金は削減され、非常に厳しい運営の局面を迎えています。今後、シルバーが生き残り、さらに発展するために「公益法人」を目指し、定款・規程等の整備を進めているところですが、認定される絶対条件は“法令を守っていること”です。今までは、いろいろな規制があったにもかかわらず、ある程度緩やかな縛りの中で就業を行ってまいりましたが、世の中の移り変わりの中で「シルバーだけを特別扱いはしないよ、法令は守りなさいよ」という風潮が進んでまいりました。

就業機会が減少している中ではありますが、今後ともワークシェアリングによる就業機会の均等化、安全・適正就業と適正受注を、さらに推進してまいります。会員、役員、事務局の皆さんと知恵を出し合い、この難局を乗り切っていきたいと思っております。

今後とも、よろしくお願い致します。

専任理事紹介

シルバー基本理念を 基に、努力を

安全・適正就業担当

竹内 勝治



安全適正就業につきましては「シルバーだより」8月号で述べた通りですので、ご参照ください。会員皆様方に於かれましてはシルバー基本理念の基、健康に留意され活動されますようお願い致します。また、業務部長（専任担当理事グループ）として各事業の発展を推進、一致団結、微力ではありますが、努力して参ります。

担当業務の内容充実に 努力していきます

広報・民間関係担当

田中 邦美



専任理事にご推薦を頂き、2期目に入りました。初年度は普及啓発、筆耕、シルバーだより・ホームページの編集、管理の仕事をさせて頂きました。

今期は、シルバーだより・ホームページの編集及びビル・マンションなどの民間の仕事、そして公共事業（副）を担当させて頂くことになりました。

皆様の会報誌「シルバーだより」の内容を、今後一層充実させていきたいし、ホームページの更なる活用を図っていきたくと考えております。

最近シルバーだよりの「会員のひろば」には投稿が少なく、さみしく思っております。写真、絵画、俳句、短歌和歌、紀行文など、皆様の作品をお寄せいただきますようお願いいたします。

専任理事に就任して

剪定・除草・刈払・森と緑・
緑地開発担当

北 米雄



今年6月より、剪定・刈払・除草・公共公園刈払除草、緑地保全の専任担当理事として仕事をさせて頂いています。

今まで就業開拓担当として、いかに就業率を高めるかを念頭に各所を訪問して進めてきましたが、今般、法改正により、法人の公益認定を受ける時期をむかえ、法令遵守が図られているか否かが、厳しく問われることとなりました。

そんな中、職群関係担当の理事となり、安全・適性就業を柱に業務が少しでもスムーズに対応出来るよう、又、発注者や就業する会員の方がより満足頂けるようにを考え、委員長が縦系なら理事は横系となり、職群の面からその一助となれるよう、頑張っていく所存です。よろしくお祈りします。

高齢社会の中で働く人も仕事を依頼する人も高齢者が増え、また高齢者の就業機会の拡大など、我々シルバー会員も益々その地域社会の一員として貢献する時代到来と考えます。

特に家庭内外の剪定、刈払、除草、介助、子育て支援など我々に託される仕事が増え、信頼度が高いのも先輩を含め会員の惜しまない奉仕の結果だと思います。

しかし、これからは更に発注者はシルバーだから仕方ないでは許されず、更に高い満足が求められ、仕事の見積もりもより細かく打ち合わせが必要となり、甘えは許されなくなると思います。

こんな中で、今年度担当理事として下記の項目について担当者の方々と検討を重ね、より良いものにしていきたくと考えています。

剪定業務について

- ①作業予定表の活用を推進し、顧客の管理と作業する人のスケジュール管理で安全適性就業に取り組みます。
- ②年間を通し、実技講習会、技術判定会を重ね、技術の向上で、会員、リーダーの育成を図ります。
- ③剪定会員を増やし、少しでも多くの受注に対応出来る剪定班を目指します。

刈払・除草業務について

- ①作業予定表の活用を推進し、スケジュール管理で安全適性就業に取り組みます。
- ②プロジェクトをつくり、問題点を整理し、改善を進めます。
- ③年間を通し、実技講習会を数多く開催し、技術の向上と刈払会員の増員に努めます。

公園刈払・除草受注業務について

公園の刈払などについては、安全チェックリストを基に作業前の安全確認、接遇等、万全の注意を払い、安全就業で安心して委託を受けられるよう、公共担当の方々と進めていきます。

すべき事はまだまだあると思いますが、まずは、以上を重点に取り組みます。

まだ担当として日が浅く、皆さんから色々聞かせて頂き、微力ながら責務に励んでまいります。ご指導ご鞭撻よろしくお祈り致します。

最後になりましたが、剪定、刈払など技術を身に付けようと思われている方は、野外の仕事に取り組んでみようと思われている方は、講習会でぜひ触れてみて下さい、楽しくなりますよ。

今後の互助会に思う

互助会・筆耕担当
荒木 博子



互助会では、年度計画に基づき、多くの会員にご参加頂き、健康で明るい豊かな生活の充実と、心の通う地域社会の活動を目指し、事業を推進しています。

就業はもとより、趣味のサークルやスポーツ活動、親睦旅行、ボランティア活動等、多くの会員が参加されていますが、平成23年度より公益法人への移行に伴い互助会事業についての見直しが表示されています。

これから、皆様方の選択により互助会のあり方が変わることになります。

今後、益々高齢化が進む環境で唯一、憩いの場として仲間の輪を助け、健康で楽しい互助会であることを望みます。

就業開拓にお力を貸して下さい!!

就業開拓・普及啓発・
独自事業担当



本田 正郎

引き続き就業開拓を担当します本田です。

公益法人へ向けてシルバー人材センターがお引き受け出来る業務には、様々な制約があります。

各支部の就業開拓担当も、委員長と相談しながら頑張っています。

会員の皆さん、皆さんの今までの経験と知識の中から知恵を貸して下さい。どんな事でもいいです。各支部の就業開拓担当に「あそこに行ってみたら」「こんな提案をしたら」「私の知人がシルバーの出来る事を教えてほしいと…」等の情報をお願いします。

“一人でも多くの会員が就業出来ますように”が私の願いです。

駐輪場等の公共関係の業務について

駐輪場・放置自転車・
配食・その他公共関係担当



齋藤 茂材

引き続き公共関係の仕事を担当することになりました。相変わらずのご指導ご鞭撻の程をよろしくお願いいたします。

さて、福岡市営駐輪場は指定管理者制度になってから2回目の契約更改が、一昨年より順次実施され、皆様ご承知のとおり当センターは、幸い、城南、南、早良の駐輪場の指定を受けることが出来ました。

今年度の駐輪場の契約更改は、東、博多、中央並びに西の各区の公募があり、これに対応するシルバー

の各支部は、会員の就業機会確保のため、指定の獲得を目指し、それぞれ応募することとし、去る9月1日に提案書を福岡市へ提出しました。

福岡市への提案内容については、各支部中心に設置されたプロジェクト会議で、各駐輪場のリーダーさんの意見をいただき、更なるサービスの向上策、ボランティア活動を実施することによる地域貢献策等を中心に真剣に検討していただき、作成されました。

提案書は、今後、福岡市に設置された指定管理者選定委員会で審議され、10月中には、来年度以降の指定管理者が内定されることになっていますが、多数の団体、会社等が応募したと聞いており、獲得競争は厳しい状況にあると考えています。

そのほか、福岡市から受託する配食業務等他の公共関係の仕事についても厳しい環境の中ではありますが、引き続き受託を目指して行きたいと考えていますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

質の高いサービスの提供で地域社会に貢献!!

福祉・家事援助サービス担当

井上 伸正



西支部出身で、福祉・家事援助サービス・女性会員拡大を担当しております。皆様のご指導、ご協力をお願い致します。福祉・家事援助担当になりました時は、出来るだろうか?と不安な毎日でした。家事援助サービス班連絡会議など、重ねる度に、支部担当者、班長の前向き、積極的な姿勢、会員基礎研修会参加者の真面目な態度に接し、これならやっつけられると思うようになりました。福祉・家事援助サービスの、なかでも、今後は、地域での子育て支援に関する就業の機会が増加すると思っております。今後も会員の皆様には会議・研修会・講習会に積極的に参加していただき、知識の習得と技術の向上に努め、より良いサービスの提供をしていただければと思っております。会議・講習会等は、その都度ご案内していきます。

家事援助サービスは、他人の家に入り、就業する場合はほとんどですので、常に、自らの健康状態を確認し、長い人生経験と仕事の能力を生かし、家事援助を必要とする方々に、日常生活上のサービスを提供し、安心して暮らし続けることを実現するために、努力したいと思っています。そして、常に、利用者の尊重、きめ細かいサービスの提供、プライバシーの保護、自らの向上、地域社会への貢献を常に意識して活動を進めたいと思っています。

女性会員は、平成21年度末では2,408名で、全会員7,005名の34.3%です。今後は、育児支援など、福祉分野へのニーズが拡大していくと予想されますので、環境整備を進めながら、女性会員拡大にも努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

社団法人 福岡県シルバー人材センター連合会 紹介

社団法人 福岡県シルバー人材センター連合会

事務局長 猪口 紘芳



日頃から、当連合会事業に格段のご協力をいただき誠にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

会員の皆様、今年は記録的な猛暑が続きましたが、暑さによる熱中症対策は如何でしたでしょうか。体調管理を万全にして就業されるよう、特にお願いいたします。

福岡県は、65歳以上の人口が22%を超え、超高齢社会を迎えました。県は知事の特区構想を受け「70歳現役社会づくり研究会」委員会を発足、高齢者の雇用・就業、社会参加等への対策を検討し始めました。

さて、日本経済は停滞が長引き、地域は混迷の度を深め、景気浮揚が待たれる状況にあります。この世情のもと、シルバー事業実績は県内全域でここ数年伸び悩んでおり運営への影響が懸念されます。また、昨年11月に行われた政府の「行政刷新会議による事業仕分け」におけるシルバー事業の評価結果は、全国のシルバー関係者を震撼させました。

しかし、危機意識の共有と、全国の仲間が連携し対応する体制の創出は、シルバー人材センターにとって意義深いことと受け止めています。

このような状況のもと、連合会は公益社団法人への移行申請の準備を始め、年度内の認定を目指しています。各センターへは、申請期限（平成25年11月30日）を考慮し、事業の在り方、会計の20年新会計基準への対応等、相談・支援の体制を整えています。

なお、就業の適正化（法の遵守）、経理的な素養等公益認定を受けるための基本的条件が達成されているか、再度確認をお願いします。

また、連合会は様々な事業に取り組んでいます。特に安全・適正就業対策事業、普及啓発事業、福祉・家事援助サービス・子育て支援事業等に加え、シルバー派遣事業も行い、理事会の方針に沿って各センターのご理解・ご協力を得ながら事業遂行に励んでいます。

他にも厚労省からの委託「シニアワークプログラム(SP)・シニア就業支援プログラム(SSP)」事業を受託、高齢者の雇用・就業等にも最善を尽くしているところです。

受託事業は、応募の資格を有する会員の皆様、ご近所、友達等に事業への参加を是非お勧めいただき、連合会の受託事業へ、何卒ご協力いただきますようお願い申し上げます。

最後に、会員の皆様のご健勝・ご多幸と社団法人福岡県シルバー人材センターの益々のご発展をご祈念申し上げます。

【SP・SSP事業案内】

※シニアワークプログラム(SP)事業で行う高齢者技能講習とは

厚労省の委託を受け、60歳代前半層を中心に、高齢求職者を対象に事業主団体等の参画・協力のもと、新しい技能・知識を習得する技能・介護等講習や面談会を実施しています。

●応募資格

○原則として、60歳代前半層で仕事をお探しの方ただし、現在、雇用、就業中の方は応募できません。センター会員でも、条件を満たせば応募が可能です。

○過去1年間に当連合会の各講習会を受講された方は、除きます。

詳細は、連合会、公共職業安定所、最寄りのセンターにお問い合わせください。

また、当連合会ホームページにも掲載（URL <http://fscr.or.jp>よりシニアワークプログラムへ）

※シニア就業支援プログラム(SSP)事業とは

仕事（就業）や社会参加でもっと自分を活かしたい、地域活動に参加したいと考えている55歳以上の方を対象に、企業・団体等と連携し、求める人材をマッチングして、高齢者の雇用、就業、社会参加を応援、支援する事業です。

●この事業へ参加するには、

◎参加登録申請書に記載し、連合会への提出が必要です。

◎参加登録申請書は、各センター、公共職業安定所、行政機関等にあります。

登録者は、セミナーやワークショップ（就業体験）合同面接会等への案内があります。

詳しくは、当連合会シニア就業支援係へ
電話092-623-5656 FAX092-623-5677



セミナー事業



シニア就業支援
プログラム事業
(SSP)



シニアワーク
プログラム事業
(SP)



平成22年度 実績報告

(8月末現在)

●会員数	7,175名	●就業者数	4,579名
●男性	4,710名	●就業率	54.3% (月平均)
●女性	2,465名	●事業収入	9億7,944万円

平成22年度 事故発生状況

(8月末現在)

●傷害事故	18件	(前年同期17件)	前年度比 +1件)
●賠償事故	15件	(" 16件	" -1件)
●自動車事故	9件	(" 9件	" 0件)
●累計	42件	(" 42件	" 0件)

■傷害事故 (7月1日～8月末日)

日付	就業中 途上	性別	年齢	仕事内容	事故の状況	部位	症状	傷害の程度		
								入院	通院	手術
7/7	就業中	男	65	屋内作業	就業先で備品の箱詰め作業中、梱包箱を台車に載せてロープを掛けようとしたところ、台車が倒れかかってきたため、はずみで転倒し、左手を床に強くついた。	左手小指	骨折		○	
7/9	就業中	男	72	撤去作業	就業先で放置自転車の撤去作業中、横断歩道を歩行していた際、対向してきた右折車にはねられて転倒し、全身を打った。	頭部・肩・腕・足	打撲	○		
7/10	途上	女	65	家事援助	就業先より自転車で帰宅途上、雨で濡れたグレーチング(金属製の側溝フタ)でタイヤがスリップし、転倒した。	左足	骨折	○		
7/12	途上	女	64	家事援助	自転車で就業先へ向かう途上、T字路を通りかかった際、乗用車と接触して転倒した。	肘・大腿部	打撲		○	
7/15	就業中	女	73	除草作業	就業先で作業を終了し、片づけを行っていたところ、雨ざらしで腐食の進んだ木製のサンデッキを踏み抜き、足をとられて転倒した。	左踵	骨折		○	
7/18	途上	男	67	駐輪場	就業先より自転車で帰宅途上に転倒し、救急車で搬送された。	全身	意識不明	○		
8/3	就業中	女	69	家事援助	就業先で玄関周りの清掃作業中、玄関の上がり框の段差を踏み外し、コンクリートの床へ転落した。	尾髄骨	骨折		○	
8/13	途上	男	66	駐車場	就業先より自転車で帰宅途上、交差点で、一時停止無視の乗用車が進入してきて接触し、転倒して救急車で搬送された。	腰椎	圧迫骨折	○		
8/19	就業中	女	62	除草作業	就業先で除草作業中、左膝上付近をスポンの上から蜂に刺され、発熱と腫れを生じた。	左膝上	虫刺症		○	

■損害賠償事故 (7月1日～8月末日)

日付	性別	年齢	仕事内容	事故の状況
7/21	男	71	剪定	就業先で作業準備中、梯子を荷台から降ろそうとした際、手が滑って梯子が右ドアミラーに当たり、ミラーが破損した。
7/29	男	69	街頭指導	就業先で街頭指導の作業中、歩道上の不法駐輪車を移動させようとした際、自転車が転倒して近くに停まっていた乗用車と接触し、乗用車の助手席側ドアに傷がついた。
8/3	男	68	刈払除草	就業先公園東側道路付近で草刈り作業を行った際、刈払機による飛び石が通行人の足に当たった。現場では防護ネットを使用し、警備員2名を配置して安全対策を講じていた。
8/7	男	73	刈払除草	就業先で刈払作業中、刈払機で石をはね飛ばし、石が駐車中の26人乗り送迎バスに当たり、窓ガラスを破損した。防護ネットを張っていたが、わずかなすき間から石が飛んだと見られる。
8/15	男	74	刈払除草	就業先で刈払作業中、刈払機で石をはね飛ばし、石が駐車中の乗用車に当たり、車体に傷をつけた。防護ネット等による安全対策は、行われていなかった。

■自動車事故（7月1日～8月末日）

日付	性別	年齢	仕事内容	事故の状況
7/1	男	66	運 転 (送迎)	発注者車両を運転しS字カーブの連続する見通しの悪い道路を走行中、対向車が来たため避けようとハンドルを切ったところ、道路脇の街路樹に車体左側が接触し、左フェンダー及びフェンダーミラー用ステーが破損した。
7/6	男	67	運 転 (送迎)	発注者車両を運転し利用者を自宅へ送りに行った際、先に到着していたヘルパーの車両が利用者宅前に駐車していたため、その前に駐車しようとしたところ、ハンドル操作を誤って車体左側が接触し、自車両左後方と相手車両右前部バンパーが破損した。
8/3	男	68	公園除草	公園除草作業用車両を道路から緑地内へ乗り入れようとした際、段差にタイヤをとられて車体が振られ、入口のブロックと接触し、助手席側ドア下部付近が破損した。車道と歩道の段差を解消するための手製の板を用意していたが十分でなく、入口への進入角度も浅かった。

◆◆◆◆平成22年度 県連合「安全標語」入賞作品◆◆◆◆

始業前 相互注意の ミーティング

福岡県内の8月の事故から

8月の賠償事故32件の内訳は、次のようになっています。

刈払による石飛ばし事故	17件	(53.1%)
石飛ばし以外の刈払事故	5件	(15.6%)
車両運転事故	6件	(18.8%)
その他	4件	(12.5%)

刈払時の石飛ばしが、全体の約半数を占めています。刈払機使用による事故は22件となり、全体の68.7%に及んでいます。この時期は刈払作業が多いため、事故も増えるという見方もあると思います。しかしながら、気になることは、17件中10件は防護ネット等を使用していたにもかかわらず、石飛ばし事故を起こしているということです。防護ネット等は使用していても、その使用方法に問題がある場合があります。パトロールで作業現場を拝見して、そのように感じる場合があります。作業する会員の皆さんに、石飛ばし事故を起こさないと意識して作業をされているのだろうか、疑問に思うこともあります。刈払機とネット等の使用方法を再確認し、それらの使用者の事故回避意識を、より一層高めることが必要と思います。

ネット等を使用しないで、事故を起こしたのが7件ありますが、これは安全意識の欠如といわざるを得ません。石飛ばし事故再発防止策として、岡垣町SCは次の点を上げています。基本的な対策と思いますので、是非参考にさせていただきたいと思います。

- *車の通行中は、作業を中止する。
- *道路沿いの作業では、誘導員(監視)をつける。
- *安全ボードの高さを考慮して使用する。
- *作業中看板や三角コーンを道路寄りに設置し、通行車両に徐行を促す。
- *道路沿いの作業では、矢印板を使用する。
- *急ぎ作業をしない。
- *現場の状況に応じて、飛石防止ネットを使用する。



石飛ばし事故をなくすことは、刈払機による事故全体の回避につながるものと考えます。

福岡県シルバー人材センター連合会 安全・適正就業対策委員会発行「事故情報について(8月分)」より

平成22年度 会議開催状況（8月～9月）

●理事会

回	開催月日	議案
7	8月25日(水)	●正会員の入会について
8	9月22日(水)	●正会員の入会について

●総務部会(委員長理事の会議)

回	開催月日	議案
5	8月18日(水)	●未収金対策について ●互助会について ●指定管理者について
6	9月16日(木)	●未収金対策について ●運転業務の受注中止について

●業務部会(専任担当理事の会議)

回	開催月日	議案
6	8月20日(金)	●業務部会(担当)の取組状況について ●平成22年度の普及啓発活動の取り組みについて ●発注者満足度調査について ●互助会について ●指定管理者について
7	9月17日(金)	●業務部会(担当)の取組状況について ●平成22年度の普及啓発活動の取り組みについて ●運転業務の受注中止について

●合同部会(総務部会と業務部会の合同会議)

回	開催月日	議案
4	8月25日(水)	●総務部会及び業務部会報告 ●平成22年度7月事業実績について
5	9月22日(水)	●総務部会及び業務部会報告 ●平成22年度8月事業実績について ●刈払就業会員育成プロジェクトの開催について ●普及啓発活動について

●安全・適正就業対策委員会

回	開催月日	議案
4	8月25日(水)	●平成22年度事故状況について ●損害賠償の審議事項
5	9月22日(水)	●平成22年度事故状況について ●損害賠償の審議事項

●互助会業務委員会

回	開催月日	議案
5	8月5日(木)	●「囲碁大会」結果報告について ●「歴史探訪」について ●「ハイキング」の結果報告について
6	9月2日(木)	●「ボウリング大会」開催準備について ●「ゴルフ大会」開催準備について ●「歴史探訪」開催準備について ●互助会について

わが町の歴史散歩 ⑩東区編

「立花城旧跡」

福岡市東区と糟屋郡新宮町、久山町の境界に立花山(367m)があり、西側に松尾岳(337m)と白岳(314m)が連なっています。また東側には三日月山(272m)が連なっています。1334年に大友貞戴が立花山に筑前の要塞として築城した。

隣の三日月山には平陣屋があったことにより「陣山」と呼ばれています。

大友家が島津家、龍造寺家と戦った時代に大友宗麟の武将として立花道雪、高橋紹運、立花宗茂が岩屋城、宝満城そして立花城を守った。

戦国時代は筑前の貿易港博多の利権を争っていたが秀吉の九州統一後、立花宗茂は筑後柳川に移った。小早川隆景が筑前に入国し立花城に入ったが水軍を得意としたため名島に城を構えた。立花宗茂は関ヶ原の戦いで西軍に就いたため改易となるがその後柳川に返り咲いた。

その後黒田長政が入国し、1601年に福岡城を築き立花城、名島城は廃城となりました。



立花家に関わるものに古賀市の医王寺や薦野氏・米多比氏の名前があります。また新宮町に梅岳寺、独鈷寺、六所神社などがあります。

4月の山開きに合わせてJRウォーキングがJR福工大前から、7月には西鉄のレッツハイクが下原バス停から開催されます。

現在は東区下原バス停から立花山の登山道があります。また新宮町の立花口バス停からの登山道があります。

それぞれのコース共1時間程度で山頂に登ることができます。



山頂からは右手から海の中道、志賀島、市街地の奥に能古島を眺めることができます。

広報委員 安武 和芳



互助会だより

活動報告

第12回 支部対抗囲碁大会 西支部優勝

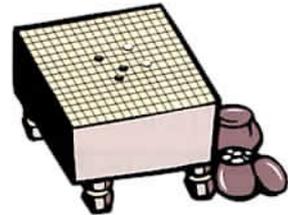
平成22年7月25日、各支部代表35人の会員の参加により、中央・城南支部会議室で開催致しました。

対局前の開会式で、中央支部の江口委員長および荒木互助会担当理事の挨拶、並びに昨年優勝の東支部から優勝杯返還の後、10時から熱戦が繰り広げられ、西支部の優勝で幕を閉じました。

優勝は逃したものの、各支部とも来期に向けての闘志を秘めて表彰式に臨みました。荒木理事から、西支部に優勝杯の授与、並びに閉会の言葉で散会いたしました。

無事終了できましたことを、関係各位に感謝いたします。

業務委員一同〔担当支部：中央支部 原口〕



互助会だより

互助会からのお知らせ

「ゴルフ大会」参加者募集

1 開催日時……………平成22年11月11日(木)

2 開催場所……………筑紫が丘ゴルフクラブ
(那珂川町後野571)



3 プレー費……………11,000円(キャディー・昼食代を含む)
※70歳以上は、500円引き

4 会 費……………2,000円(賞品代、パーティー代に充当)

5 参加募集締切日…平成22年10月28日(木)

6 申込方法……………会員番号・氏名・住所・年齢・性別・電話番号を
ご記入の上、ハガキまたはファックスにて、
各支部互助会業務委員宛にお申込み下さい。



(電話での申込みは、ご遠慮ください)

東 支部 〒812-0061 東区筥松2丁目1-27 FAX 092-624-4682

博多支部 〒812-0044 博多区千代1丁目21-16 FAX 092-633-4681

中央支部 〒810-0044 中央区六本松1丁目2-22 FAX 092-713-4453

南 支部 〒815-0033 南区大橋3丁目17-3 FAX 092-551-5300

城南支部 〒810-0044 中央区六本松1丁目2-22 FAX 092-731-7731

早良支部 〒814-0006 早良区百道2丁目1-35 FAX 092-821-4899

西 支部 〒819-0002 西区姪の浜4丁目8-28 FAX 092-881-4761

中央支部

手芸「和楽会」

代表 佐々木 喜久江



会員は11名で昨年発足し、毎月第2・第4火曜日開催し、支部で会員それぞれ創作した手芸品を持ち寄り観賞されておられるそうです。

手芸は、創作と手先を動かすことで脳の活性化を図り、老化を抑制するそうです。

広報委員 井手上 勉

南支部

「社交ダンスクラブ」

代表 島崎 美和子



南支部玄関入口のドアを開けると、真正面に毛筆で“社交ダンスクラブへ初心者の方の入会歓迎”と掲示されています。ご覧になられた方も多いと思います。

このクラブは、発足して5年目を迎え、現在の会員は15名です。男女会員のバランスがよく、平均しています。練習日は月2回で、第1・3金曜日の午後1時から2時間です。

先日、取材に訪れますと、会長の島崎さんは笑顔で「今日は昼間なので就業している会員が半数おり、参加者は6名で申しわけありません」と詫げられました。更に、「私たちは室内で楽しく踊るばかりではありません。春はお花見やカラオケ、ダンスパーティーをします。年度末も同じ会食をし、会員の親睦を深めています」と話されました。

カセット・デッキから奏でられる曲目は、タンゴ、ルンバ、マンボ、ワルツ、ジルバ、スロットがあります。学生の頃、通い続けたダンスホールの思い出を回想させられました。是非入会されて仲間と語り、ダンスを踊って、体も気分も爽快になってください。

広報委員 高濱 一郎

城南支部

手芸サークル

「マンサク」

代表 戸野川 ナナエ



平成19年4月に発足した手芸サークル「マンサク」。会の名前は、冬に他に先駆けて咲く花マンサクにちなんだものです。会員は9月10日現在で12名、年会費は1,000円です。「毎月第1・第3水曜日の午後1時30分から支部会議室に集合し、帽子や袋もの、草履、ベスト、ペットボトルカバー、ビーズ作品などを毎回テーマを決め「ワイワイと楽しく」をモットーに余暇を楽しんでいます。作品は「RKBラジオまつり」の会場や「会員の集い」「女性会員の集い」の会場などに展示しています。初心者でも大歓迎。皆さん、一緒に楽しみませんか」と呼びかける戸野川ナナエさん。

サークルへの入会希望者は、支部まで連絡して下さい。

広報委員 藤 勇三

早良支部

手芸サークル「すみれ会」

代表 元木 節子



私達「すみれ会」は、発足して7年5ヶ月が過ぎました。発足当初は講師を招き、みんなで同じ作品を作っていましたが、時の流れと共に、活動のあり方も変わってきました。

現在では「シルバーフェスティバル」等へ作品を出品するために頑張っています。お客様が少しでも喜ばれるように、一針一針と丁寧に作品作りに励んでいます。

広報委員 高橋 勉

事務局からのお知らせ

健康診断を受診しましょう!

健康診断を未受診の方は、是非この機会にお受けください。

<受ける時のご注意!>

- 1 「特定健診」は、保険の違いにより、受診する実施場所が異なります。
- 2 シルバーへ提出の「受診報告書」は、会員自身が結果をご記入ください。

特定健診は、高血圧などの生活習慣病を予防するための健診です。年1回受診しましょう!

区分と照会先	対象者	実施場所	本人負担	受診方法
福岡市国民健康保険 Tel 7 1 1 - 4 2 3 5	40~74歳	各区保健所 健康づくりセンター 市内実施医療機関	500円 満70歳以上、 市民税非課税 世帯(要証明書) の方は免除	保険証のみ提示
社会 保 険 協会けんぽ Tel 283-7624 その他健保		実施場所は、それぞれの保険者(協会けんぽ、後期高齢者医療広域連合など)におたずねください。	それぞれの保険者(協会けんぽなど)におたずねください。	受診券、保険証を提示
高齢者の健診 (後期高齢者健康診査) 後期高齢者医療 広域連合 Tel 651-3111	満75歳以上 (生活習慣病の 治療で、検査や 投薬を受けてい る人は対象外)	各区保健所、健康づくりセンターでは実施していません。	500円 (免除なし)	受診票、保険証を提示

編集 後記

今年の猛暑には、心身共にほとんど弱り切ってしまいました。原稿メ切日が差迫っているのに、筆が一向に進まない、気力が薄れてしまい、軽い熱中症と思いました。「シルバーだより」がお手元に届く頃は、青空が高く透き通り、草木が色づく実りの秋になっていると思います。先人は、この季節を愛し、日本列島の四季折々の移ろいと景観に感動して、すばらしい詩歌を吟じ残しました。私たちも、四季の変化が整然とした季節感を長年誇りに思い続けて参りました。今後、地球環境の変動で季節感が喪失することになると日本文明の退歩にかかわると思うのは私だけでしょうか。秋は、読書の秋、食欲の秋、芸術の秋といわれます。「シルバーだより」では、「会員のひろば」のコーナーがあります。会員の方のご投稿をお待ちしています。(I.T)

「ふくおかシルバーだより」

発行元/(社)福岡市シルバー人材センター

◎ご意見やお便りをお待ちしています。

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目21-16 TEL (092)643-8200 FAX (092)651-5000 <http://www.fukuoka-sjc.org/> e-mail honbu@fukuoka-sjc.org